

科目名	特別演習（卒業必修）			
授業形態	演習	学年	2	
開講時期	2022年度 前期～後期	単位数	2	
担当教員	高田 正哉			
内容および計画	<p>本演習は、「コミュニティに根ざした学びの場づくり」を、質的調査法を用いて研究するものである。現在、日本国内、世界各地において多様な学びを保障するため、図書館・博物館・美術館等の社会教育施設の利活用、または子どものための遊び場等のサードプレイスの設立が目指されている。本講義では、「コミュニティに根ざした保育者」というキャリアの未来の可能性として、このような学びの場のあり方を探究する。</p> <p>具体的には、①「コミュニティに根ざした学びの場づくり」のための理論に関する文献・論文の読解、②先進地域の事例分析、③先進地域における質的調査である。これらのことを通して、先進地域における調査についての調査報告を作成する。</p>			
1	オリエンテーション			
2	文献読解 1			
3	文献読解 2			
4	文献読解 3			
5	文献読解 4			
6	文献読解 5			
7	事例分析 1			
8	事例分析 2			
9	事例分析 3			
10	事例分析 4			
11	事例分析 5			
12	フィールドワーク準備 1			
13	フィールドワーク準備 2			
14	フィールドワーク練習 1			
15	フィールドワーク練習 2			
16	フィールドワーク練習 3			
17	ふりかえり			
18	フィールドワーク 1			
19	フィールドワーク 2			
20	フィールドワーク 3			
21	フィールドワーク 4			
22	フィールドワーク 5			
23	ふりかえり			
24	研究報告準備 1			
25	研究報告準備 2			
26	研究報告準備 3			
27	研究報告準備 4			
28	研究報告準備 5			
29	研究報告会 1			
30	研究報告会 2			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	ISBN

参考書	<p>岸政彦他著『質的社会調査の方法 -- 他者の合理性の理解社会学』有斐閣、2016年。</p> <p>工藤保則他編『質的調査の方法〔第2版〕：都市・文化・メディアの感じ方』法律文化社、2016年。</p> <p>N・L・デンジン、Y・S・リンカン編『質的研究ハンドブック1巻：質的研究のパラダイムと眺望』北大路書房、2006年。</p> <p>N・L・デンジン、Y・S・リンカン編『質的研究ハンドブック2巻：質的研究の設計と戦略』北大路書房、2006年。</p> <p>N・L・デンジン、Y・S・リンカン編『質的研究ハンドブック3巻：質的研究資料の収集と解釈』北大路書房、2006年。</p>
------------	--

成績評価	
評価方法	割合(%)
授業への参加	50
研究発表	50

研究発表は、基本的に共同研究とする。

学習到達目標	<p>① 自らがコミュニティ活動にいかに関与しうるかを考えられるようになる</p> <p>② 学術的な見地を用いて、コミュニティ活動を構成することができるようになる</p>
先修条件	特記事項なし。
実務経験	福島県内での自習スペースの管理運営
その他	受講生自身の出身地における教育実践を紹介していただきます。ゼミ受講前に、こちらのことを調べていただければ幸いです。また、仮に受講生自身がその実践に参画するとすると、どのように貢献できうるかを考えてみてください。